

平成30年住宅・土地統計調査の結果(千葉県分)について

総務省統計局から公表された「平成30年住宅・土地統計調査」(平成30年10月1日現在で実施)の結果について、千葉県分の結果概要を取りまとめました。

住宅・土地統計調査は、住宅・土地の保有状況及び世帯の居住状況等の実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることを目的として、昭和23年以来5年ごとに実施されており、本県では県内9,614調査区、約163,000住戸・世帯を対象に行われました。

(以下は抜粋版です。調査の概要を含め詳細は千葉県ホームページを御参照ください。)

URL: <https://www.pref.chiba.lg.jp/toukei/toukeidata/jutakutochi/h30jutakutochi.html>

人 口 室
電話 043-223-2223

第1 住宅及び世帯に関する基本集計

1 総住宅数と総世帯数

総住宅数は303万戸と4.6%の増加、1世帯当たりの住宅数は1.14戸

本県の総住宅数(空き家などの居住世帯のない住宅を含む。)は、302万9,800戸で、東京都、大阪府、神奈川県、愛知県、埼玉県に次いで全国第6位であり、平成25年と比べると13万3,600戸、4.6%増加しました。

また、本県の総世帯数(住宅及び住宅以外の建物に居住する全ての世帯)は、265万2,000世帯で、東京都、神奈川県、大阪府、愛知県、埼玉県に次いで全国第6位であり、平成25年と比べると12万2,100世帯、4.8%増加しました。

また、総住宅数が総世帯数を37万7,800戸上回り、1世帯当たりの住宅数は、1.14戸となっています。(表1-1、図1-1、表1-2参照)

表1-1 総住宅数、総世帯数及び1世帯当たりの住宅数の推移(千葉県)

調査年	総住宅数(戸)	総世帯数(世帯)	1世帯当たりの住宅数
平成10年	2,321,100	2,021,900	1.15
平成15年	2,526,200	2,203,100	1.15
平成20年	2,717,700	2,360,800	1.15
平成25年	2,896,200	2,529,900	1.14
平成30年	3,029,800	2,652,000	1.14

図1-1 総住宅数、総世帯数及び1世帯当たりの住宅数の推移(千葉県)

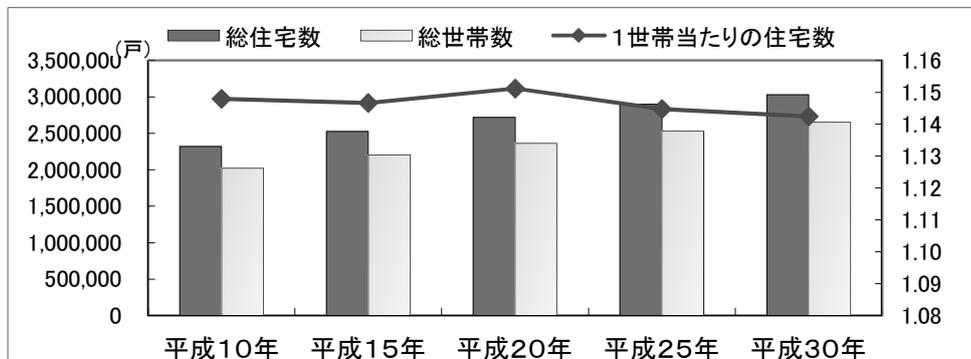


表1-2 都道府県別、居住世帯の有無別住宅数(平成30年)

(単位:戸)

区分	総数	居住世帯あり	居住世帯なし					
			総数	一時現在者のみ	空き家	うち賃貸用の住宅	うち売却用の住宅	建築中
全国	62,407,400	53,616,300	8,791,100	216,700	8,488,600	4,327,200	293,200	85,800
千葉県	3,029,800	2,635,200	394,600	6,600	382,500	198,300	16,200	5,500

2 居住世帯の有無

空き家は38万2,500戸と4.2%の増加、空き家率は12.6%と0.1%の減少

本県の総住宅数302万9,800戸のうち、居住世帯のある住宅の数は、263万5,200戸で総住宅数の87.0%を占め、空き家などの居住世帯のない住宅は、39万4,600戸で、総住宅数の13.0%となっています。

平成25年と比べると、居住世帯のある住宅は、11万8,200戸、4.7%増加し、居住世帯のない住宅は、1万5,400戸、4.1%増加しています。

居住世帯のない住宅のうち、「空き家」は38万2,500戸であり、総住宅数に占める空き家の割合（空き家率）は12.6%で、平成25年の12.7%から0.1ポイント減少しました。また、空き家率は全国40位となっています。（表1-3、図1-2、表1-4参照）

表1-3 居住世帯の有無別住宅数の推移（千葉県）（ ）内は総数に対する割合

調査年	総数	居住世帯あり	居住世帯なし		
			総数	空き家	空き家以外※
実数（戸）					
平成10年	2,321,100	2,003,700 (86.3%)	317,400 (13.7%)	294,700 (12.7%)	22,700 (1.0%)
平成15年	2,526,200	2,185,800 (86.5%)	340,400 (13.5%)	321,900 (12.7%)	18,500 (0.7%)
平成20年	2,717,700	2,344,500 (86.3%)	373,100 (13.7%)	355,900 (13.1%)	17,300 (0.6%)
平成25年	2,896,200	2,517,000 (86.9%)	379,200 (13.1%)	367,200 (12.7%)	11,900 (0.4%)
平成30年	3,029,800	2,635,200 (87.0%)	394,600 (13.0%)	382,500 (12.6%)	12,100 (0.4%)

※「空き家以外」…昼間だけ使用している、何人かの人が交代で寝泊まりしているなどにふだん居住する者が一人もいない「一時現在者のみの住宅」と「建築中の住宅」

図1-2 居住世帯の有無別住宅数の推移（千葉県）

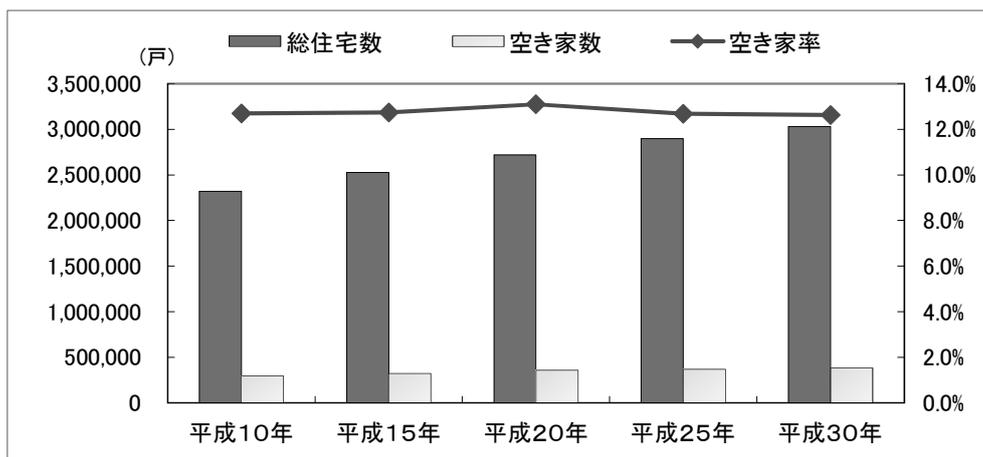


表1-4 都道府県別住宅数、1世帯当たり住宅数、空き家数、空き家率及び空き家率の全国順位（平成30年）

区分	総住宅数 (戸)	総世帯数 (世帯)	1世帯当たり住宅数	空き家数 (戸)	空き家率	空き家率全国順位
全 国	62,407,400	54,001,400	1.16	8,488,600	13.6%	—
千 葉 県	3,029,800	2,652,000	1.14	382,500	12.6%	40

3 住宅の所有の関係

持ち家は172万4,100戸、持ち家住宅率は65.4%

本県の居住世帯のある住宅を所有関係別にみると、持ち家が、172万4,100戸で住宅全体の65.4%となっており、平成25年と比べると、0.9ポイント減少しています。

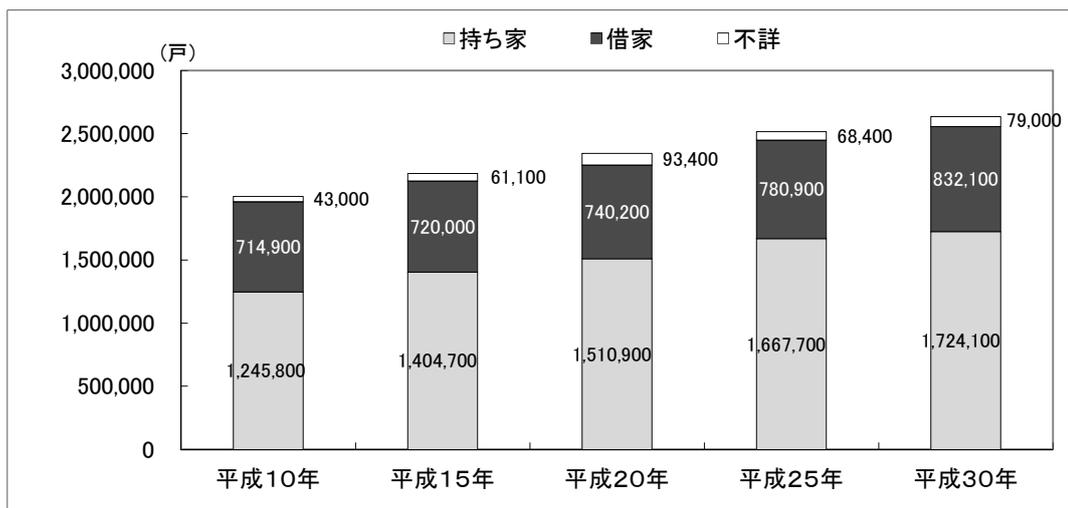
また、借家は、83万2,100戸で住宅全体の31.6%となっており、平成25年と比べると、0.6ポイント増加しています。(表1-5、図1-3参照)

表1-5 住宅の所有関係推移(千葉県)

調査年	住宅数	持ち家	借家	不詳※
実数(戸)				
平成10年	2,003,700	1,245,800	714,900	43,000
平成15年	2,185,800	1,404,700	720,000	61,100
平成20年	2,344,500	1,510,900	740,200	93,400
平成25年	2,517,000	1,667,700	780,900	68,400
平成30年	2,635,200	1,724,100	832,100	79,000
割合(%)				
平成10年	100.0%	62.2%	35.7%	2.1%
平成15年	100.0%	64.3%	32.9%	2.8%
平成20年	100.0%	64.4%	31.6%	4.0%
平成25年	100.0%	66.3%	31.0%	2.7%
平成30年	100.0%	65.4%	31.6%	3.0%

※「不詳」…「住宅数」から「持ち家」「借家」を除いたもの

図1-3 住宅の所有関係推移(千葉県)



一戸建の約9割は持ち家、共同住宅の約6割は借家

本県の専用住宅（居住目的だけに建てられた住宅）の建て方別所有状況を見ると、一戸建では、持ち家が129万2,900戸（94.4%）で、借家は、5万4,600戸（4.0%）となっており、共同住宅では、持ち家が38万6,900戸（32.8%）、借家が74万3,900戸（63.1%）となっています。（表1－6参照）

表1－6 専用住宅の建て方別所有関係推移（千葉県）

（ ）内構成比 実数：戸

調査年	建て方別	専用住宅数	持ち家	借家
平成15年	総数	2,133,500	1,359,300 (63.7%)	713,700 (33.5%)
	一戸建	1,165,300	1,079,500 (92.6%)	77,800 (6.7%)
	長屋建	43,900	15,200 (34.6%)	25,000 (56.9%)
	共同住宅	922,400	263,900 (28.6%)	609,800 (66.1%)
平成20年	総数	2,298,300	1,469,600 (63.9%)	736,500 (32.0%)
	一戸建	1,232,700	1,138,400 (92.4%)	75,100 (6.1%)
	長屋建	42,600	14,500 (34.0%)	23,800 (55.9%)
	共同住宅	1,021,600	315,900 (30.9%)	637,200 (62.4%)
平成25年	総数	2,478,700	1,634,200 (65.9%)	777,200 (31.4%)
	一戸建	1,328,300	1,235,400 (93.0%)	69,400 (5.2%)
	長屋建	46,600	12,300 (26.4%)	30,100 (64.6%)
	共同住宅	1,102,100	385,300 (35.0%)	677,400 (61.5%)
平成30年	総数	2,600,300	1,693,600 (65.1%)	829,200 (31.9%)
	一戸建	1,369,300	1,292,900 (94.4%)	54,600 (4.0%)
	長屋建	51,200	13,200 (25.8%)	30,200 (59.0%)
	共同住宅	1,178,600	386,900 (32.8%)	743,900 (63.1%)

（注）専用住宅数の「総数」は、建て方別の「その他」が含まれており、内訳の計と一致しない。

4 住宅の規模

延べ面積は、一戸建、共同住宅とも増加が続く

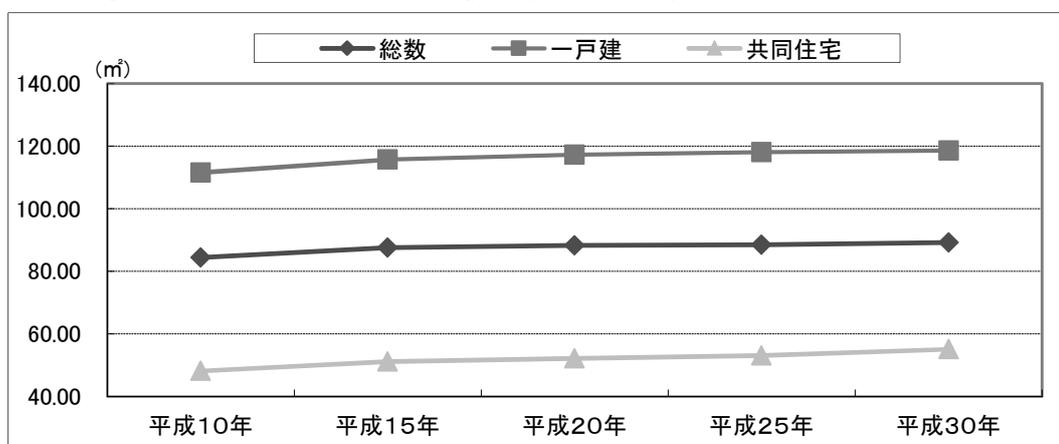
専用住宅（居住目的だけに建てられた住宅）について、1住宅当たりの居住室数、居住室の畳数及び延べ面積から住宅の規模をみると、1住宅当たりの居住室数は4.28室、居住室の畳数は32.40畳、延べ面積は89.21㎡となっています。

1住宅当たり延べ面積をみると、一戸建は118.61㎡で、平成25年と比べ0.52㎡増となっており、共同住宅は55.08㎡で、平成25年と比べ1.96㎡増となっており、共に増加傾向となっています。（表1-7、図1-4参照）

表1-7 専用住宅1住宅当たりの居住室数、畳数、延べ面積（千葉県）

調査年	区分	1住宅当たり 居住室数 (室)	1住宅当たり居 住室の畳数 (畳)	1住宅当たり 延べ面積 (㎡)	1室当たり 人員 (人)
平成10年	総数	4.51	30.22	84.41	0.64
	一戸建	5.59	38.47	111.56	0.59
	共同住宅	3.06	19.23	48.15	0.75
平成15年	総数	4.53	31.40	87.53	0.60
	一戸建	5.62	39.91	115.69	0.56
	共同住宅	3.11	20.44	51.20	0.71
平成20年	総数	4.47	31.74	88.32	0.58
	一戸建	5.57	40.31	117.26	0.54
	共同住宅	3.09	21.07	52.19	0.67
平成25年	総数	4.40	31.89	88.53	0.55
	一戸建	5.54	40.57	118.09	0.51
	共同住宅	3.03	21.55	53.12	0.65
平成30年	総数	4.28	32.40	89.21	0.55
	一戸建	5.44	41.09	118.61	0.50
	共同住宅	2.94	22.37	55.08	0.66

図1-4 専用住宅1住宅当たり延べ面積の推移（千葉県）



第2 住宅の構造等に関する集計

1 高齢者が住む住宅のバリアフリー化率

高齢者が住む住宅の一定のバリアフリー化率は38.8%

高齢者のいる世帯のうち、一定のバリアフリー化住宅に居住している世帯は42万6,000世帯で、高齢者のいる世帯に占める割合（以下「一定のバリアフリー化率」という。）は38.8%となっており、平成25年と比べ0.5ポイント上昇しています。また、高度のバリアフリー化住宅に居住している世帯（以下「高度のバリアフリー化率」という。）は7.7%となっており、平成25年と同率となっています。

一定のバリアフリー化率について住宅の建築の時期別にみると、「平成13～22年」以降の区分でいずれも70%近くとなっており、高度のバリアフリー化率も20%を超えています。（表2-1、2-2参照）

（注）一定のバリアフリー化住宅とは、人が居住する住宅について、高齢者等のための設備・構造のうち、2箇所以上の「手すりの設置」又は「段差のない屋内」がある住宅をいい、高度のバリアフリー化住宅とは、2箇所以上の「手すりの設置」、「段差のない屋内」及び「廊下などが車いすで通行可能な幅」がいずれもある住宅をいう。

表2-1 高齢者のいる世帯数（一定又は高度のバリアフリー化住宅に居住する世帯数）（千葉県）

（単位：世帯）

調査年	高齢者のいる世帯数					
	実数			割合		
	総数	うち一定のバリアフリー化	うち高度のバリアフリー化	総数	うち一定のバリアフリー化	うち高度のバリアフリー化
平成25年	968,600	370,700	74,200	100.0%	38.3%	7.7%
平成30年	1,099,000	426,000	85,100	100.0%	38.8%	7.7%

表2-2 住宅の建築の時期別高齢者のいる世帯数（一定又は高度のバリアフリー化住宅に居住する世帯数）（千葉県・平成30年）

（単位：世帯）

住宅の建築の時期	高齢者のいる世帯数					
	実数			割合		
	総数	うち一定のバリアフリー化	うち高度のバリアフリー化	総数	うち一定のバリアフリー化	うち高度のバリアフリー化
総数※	1,099,000	426,000	85,100	100.0%	38.8%	7.7%
昭和45年以前	120,800	37,300	2,600	100.0%	30.9%	2.2%
昭和46～55年	265,500	88,900	9,600	100.0%	33.5%	3.6%
昭和56～平成2年	250,600	76,500	7,700	100.0%	30.5%	3.1%
平成3～12年	210,300	93,900	22,800	100.0%	44.7%	10.8%
平成13～22年	122,800	84,800	29,400	100.0%	69.1%	23.9%
平成23～27年	42,900	28,400	9,500	100.0%	66.2%	22.1%
平成28～30年9月	13,500	9,300	3,000	100.0%	68.9%	22.2%

※住宅の建築の時期「不詳」を含む。

2 住環境（生活関連施設までの距離）

6歳未満の子のいる普通世帯のうち、最寄りの保育所までの距離500m未満は35.8%

6歳未満の子のいる普通世帯のうち、最寄りの保育所までの距離別にみると、「500m未満」が7万2,800世帯（6歳未満の子のいる普通世帯に占める割合35.8%）、「500～1,000m未満」が7万9,600世帯（同39.2%）、「1,000m以上」が5万600世帯（同24.9%）となっている。平成25年と比べると、「500m未満」の割合が8.9ポイント上昇しているのに対し、「500～1,000m未満」が1.1ポイント、「1,000m以上」が7.9ポイントそれぞれ低下している。（表2-3参照）

表2-3 最寄りの保育所までの距離別6歳未満の子のいる普通世帯数（千葉県）

年次	最寄りの保育所までの距離別6歳未満の子のいる普通世帯数							
	実数（世帯）				割合（%）			
	総数	500m未満	500～1,000m未満	1,000m以上	総数	500m未満	500～1,000m未満	1,000m以上
平成25年	215,500	58,000	86,800	70,700	100.0%	26.9%	40.3%	32.8%
平成30年	203,100	72,800	79,600	50,600	100.0%	35.8%	39.2%	24.9%

高齢者のいる世帯のうち、最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離が500m未満は38.6%

高齢者のいる世帯のうち、最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離別にみると、「500m未満」が42万4,200世帯（高齢者のいる世帯に占める割合38.6%）、「500～1,000m未満」が31万6,300世帯（同28.8%）、「1,000m以上」が35万8,500世帯（同32.6%）となっている。平成25年と比べると、「500m未満」の割合が12.1ポイント、「500～1,000m未満」が1.4ポイントそれぞれ上昇しているのに対し、「1,000m以上」が13.5ポイント低下している。（表2-4参照）

表2-4 最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離別高齢者のいる世帯数（千葉県）

年次	最寄りの老人デイサービスセンターまでの距離別高齢者のいる世帯数							
	実数				割合（%）			
	総数	500m未満	500～1,000m未満	1,000m以上	総数	500m未満	500～1,000m未満	1,000m以上
平成25年	968,600	256,900	265,000	446,700	100.0%	26.5%	27.4%	46.1%
平成30年	1,099,000	424,200	316,300	358,500	100.0%	38.6%	28.8%	32.6%

第3 土地集計

1 世帯が所有している土地の状況

現住居の敷地を所有している世帯は51.7%

現住居の敷地以外の土地を所有している世帯は11.0%

普通世帯（264万6千世帯）のうち、現住居の敷地を所有している世帯は136万8千世帯で、普通世帯に占める割合は51.7%となっている。

また、現住居の敷地以外の土地を所有している世帯は29万2千世帯（普通世帯に占める割合11.0%）となっており、このうち現住居の敷地以外の宅地などを所有している世帯は20万4,000世帯（同7.7%）となっている。（表3-1参照）

表3-1 土地の所有状況別普通世帯数（千葉県・平成30年）

	総数	土地を所有している世帯		
		現住居の敷地を所有している	現住居の敷地以外の土地を所有している	現住居の敷地以外の宅地などを所有している
実数	2,646,000	1,368,000	292,000	204,000
割合（%）	100.0	51.7	11.0	7.7

現住居の敷地を所有している世帯と現住居の敷地以外を所有している世帯の割合は、家計を主に支える者の年齢階級が高くなるほど高くなる傾向

現住居の敷地を所有している世帯及び現住居の敷地以外の土地を所有している世帯について、家計を主に支える者の年齢階級別に割合をみると、75～79歳の年齢階級をピークとして年齢階級が高くなるほど所有している世帯の割合が高くなる傾向となっている。（図3-1参照）

図3-1 家計を主に支える者の年齢階級別土地を所有している世帯の割合（千葉県・平成30年）

